



# 雄物川 上流

No.307 発行日 令和3年10月6日  
国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所 十文字出張所  
〒019-0522  
横手市十文字町字西上38-3  
TEL 0182-42-0109



## 野焼きは原則禁止です！

## 原野火災にご注意ください！！

近頃、野焼きによる原野火災の発生報告が多くあります。

河川法では、河川を損傷もしくは汚損した場合、その復旧にかかる費用を原因者に請求することになっています。

堤防付近で野焼きが行われ堤防の芝に燃え広がると、堤防が弱くなってしまいます。原野火災につながる場合もありますので、野焼きは行わないようお願いします。

また、稲わらやもみ殻を燃やした煙は、目や喉を痛めるほか視界不良を引き起こし、交通障害の原因になります。秋田県の県公害防止条例では、稲わら焼きは原則禁止されています。特に周辺に影響が出やすい10月1日から11月10日までの間は全面的に禁止していますので稲わら等は、焼かないようにしましょう。

### 野焼きが発生した現場の様子



## 雪解け水や豪雨時の増水から財産を守る！

～Part3～

### ～観測員の出水時の仕事について～

観測員が行っている出水時の観測業務は、増水時に出張所から観測員に電話連絡し、出動要請によって各水門等に出向き、まずは、内水位(堤内(民家のある方)の水位)や外水位(堤外(河岸の方)の水位)を確認することから始まります。

水位を観測するために、量水標と呼ばれる目盛りが付いた板が、水門等の堤内側と堤外側に設置されており、観測員はその目盛りを確認することになります。

通常であれば、水は高い方から低い方に流れるため、水流がある場合には、堤内の水位が高く、堤外の水位が低くなります。増水に従って逆流が始まると、水位が均衡し、その後堤外が高く、堤内が低くなるため、水門等を閉め、河川の水が堤内に入らないようにします。

しかし、難しいのは、水門を閉めるタイミングです。水門を閉めることによって、堤内にあった排水すべき水が溜まっていくことがあります。観測した水位の幅や、過去のデータ、今後の水位予測、降雨予測などを加味し、決定しますが、長年の経験による見極めも重要となってきます。実際、近くを流れる支川の影響もあり、水位上昇が上流側から順番に来る訳ではなく、ランダムであったり下流からといった場合もあり得ます。

観測員は、堤内側の財産の安全が確保されるまで、水位観測を続け、安全が確保された後、水門等を操作し全開することで、任務を終えることとなります。